

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2018年11月25日より2023年1月29日までの間に、国立精神・神経医療研究センターの「症状や病態仮説ではなく生物学的なデータに基づく精神神経疾患の新たな診断分類と病態解明に関する研究」に試料・情報を提供された方

2019年7月10日より2023年6月29日までの間に、国立精神・神経医療研究センターの「精神疾患の眼球運動異常の脳神経回路のメカニズムの解明とその臨床的意義の同定」に試料・情報を提供された方

【研究期間】

2023年4月12日より2028年3月31日まで

【研究代表者】	国立精神・神経医療研究センター	橋本 亮太
【研究責任者】	国立精神・神経医療研究センター	橋本 亮太
	名古屋大学医学部附属病院	池田 匡志
	東京大学医学部附属病院	笠井 清登
	九州大学医学部附属病院	鬼塚 俊明
	奈良県立医科大学附属病院	牧之段 学
	北海道大学病院	橋本 直樹
	自然科学研究機構生理学研究所	福永 雅喜
	東京農業大学生命科学部	中澤 敬信

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

疾患が引き起こす生活障害の指標である Years Lived with Disability (YLDs) は、2019年時点で全世界でも日本でも精神疾患が第2位です。そこで、精神疾患の病態を解明し、その診断法・治療法を開発し普及することにより、精神疾患の克服とその障害の支援を行うことが必要とされています。その研究基盤として大規模な試料と情報(臨床情報、画像情報、ゲノム、神経生理、認知機能、血漿・血清など)を収集し、データベース・バンク化し、利活用するシステムを構築することを目的とします。試料・情報は、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部に保管されているものを受け取り、精神疾患病態研究部の精神疾患データベースにて管理します。本研究では、広く試料・情報を利活用する仕組みを構築し、試料・情報提供依頼者からの依頼を利活用委員会が審査し、提供が承認され、依頼者の研究計画が倫理

委員会にて承認されれば提供します。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料:血液から得られたDNA、RNA、血漿、血清、リンパ芽球、iPS細胞の既存試料

情報等:既存の基本情報(年齢、性別、人種、利き手、身長、体重、精神科診断、身体疾患、教育歴、発症年齢、精神科初診年齢、罹病期間、家族歴、発達歴、血圧、脈拍、喫煙歴、ECT歴、rTMS歴、入院歴、暴力情報、精神症状評価、薬の副作用評価、病識、服薬アドヒアランス)、既存の認知社会機能検査(ウェクスラー知能検査、Japanese adult reading Test、ウェクスラー記憶検査、Auditory verbal learning test、語流暢性検査、注意集中力検査、ウiskonシンカードソーティングテスト、表情認知、社会認知、社会機能検査、QOL検査、パーソナリティ検査、自閉症スペクトラム指数)、既存の神経生理機能検査(眼球運動検査、光トポグラフィ検査、脳波、疼痛検査、プレパルスインヒビション検査)、既存の脳MRI検査(三次元脳構造画像、拡散テンソル画像、安静時機能的MRI画像、ニューロメラニン画像、ミエリンマップ画像)、既存のゲノム情報(エクソームシーケンス、全ゲノム一塩基多型)

提供する試料・情報の取得の方法

大阪大学の「精神病性障害関連遺伝子の解析研究」(研究代表者:谷池雅子教授、前研究代表者:橋本亮太招へい教授)と「統合失調症患者からのリンパ芽球由来の人工多能性幹細胞(iPS細胞)樹立とそれを用いた病態解析・治療法探索」(研究代表者:藤本美智子助教、前研究代表者:橋本亮太招へい教授)における匿名化した既存の試料から国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部に移管され、症状や病態仮説ではなく生物学的なデータに基づく精神神経疾患の新たな診断分類と病態解明に関する研究にて解析を行ったもの。

国立精神・神経医療研究センターの「精神疾患の眼球運動異常の脳神経回路のメカニズムの解明とその臨床的意義の同定」の研究において試料・情報を取得したもの

【共同研究機関】

国立精神・神経医療研究センター	研究責任者 橋本 亮太(研究代表者)
名古屋大学医学部附属病院	研究責任者 池田 匡志
東京大学医学部附属病院	研究責任者 笠井 清登
九州大学医学部附属病院	研究責任者 鬼塚 俊明
奈良県立医科大学附属病院	研究責任者 牧之段 学
北海道大学病院	研究責任者 橋本 直樹
自然科学研究機構生理学研究所	研究責任者 福永 雅喜
東京農業大学生命科学部	研究責任者 中澤 敬信

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

理研ジェネシス	責任者 岩壁 賢治
株式会社日鉄日立システムエンジニアリング	責任者 堀 洋之
株式会社ドクターネット	責任者 長谷川 雅子
株式会社 Medical Corporation BONDS	責任者 新井 鐘一

○問い合わせ窓口

作成年月日：2023年5月28日 第2版

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属 精神疾患病態研究部 氏名 橋本亮太

電話番号 042-341-2711(代表)

e-mail: ryotahashimoto55※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)